

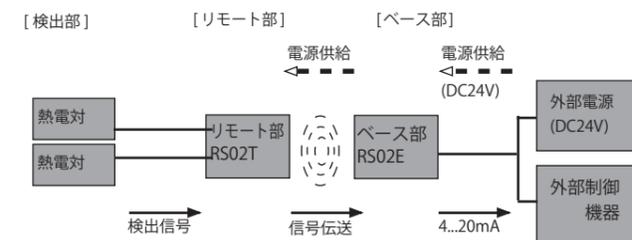
リモートセンサシステム / アナログ信号 熱電対仕様 / 2点伝送タイプ
リモート部：RS02T-018-J___ (熱電対Jタイプ用) RS02T-018-K___ (熱電対Kタイプ用)
ベース部：RS02E-018E-PU

* Please turn over for English guide.

安全に関するご注意について

ご使用になる前に、別紙「安全に関するご注意」
(文書番号 T318501) を必ずお読みください。

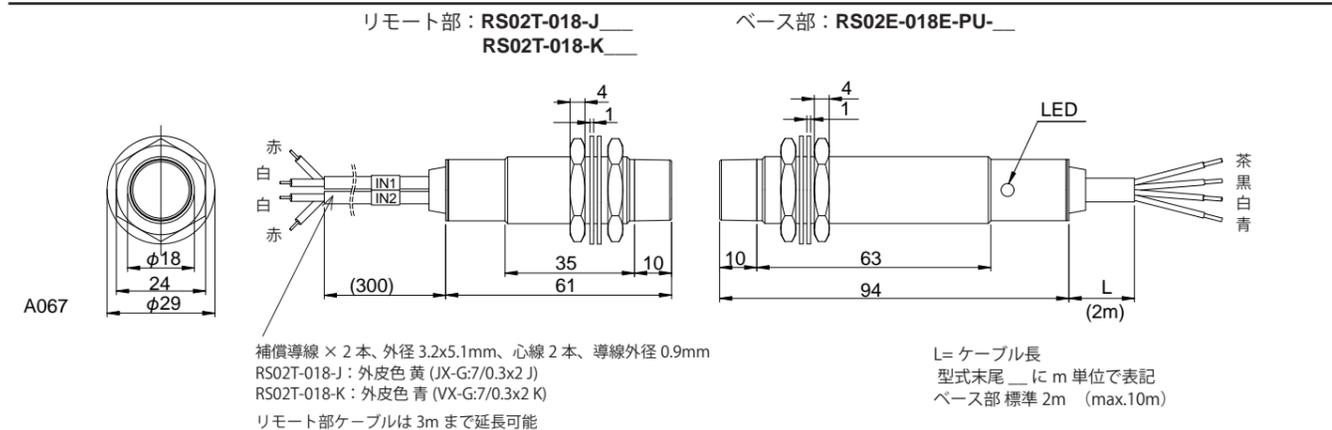
システム構成



【各部の役割】

検出部：熱電対（JまたはKタイプ）を接続して温度を検出します。
 リモート部：(1) 温度によって変化する熱電対の熱起電力を検出すると同時に、IC温度センサで基準接点の温度を検出します。
 (2)(1)の結果から、内部CPUが規準熱起電力(JIS規格)に基づく温度データを算出しデジタル信号に変換、ベース部に伝送します。
 ベース部：リモート部から伝送されたデータを、4...20mAのアナログ信号に変換し、外部に出力します。
 またリモート部が動作するための電源を供給します。
 LEDは、リモート部がベース部の伝送領域にあり、出力信号が有効な時点灯します。

外形寸法図



仕様

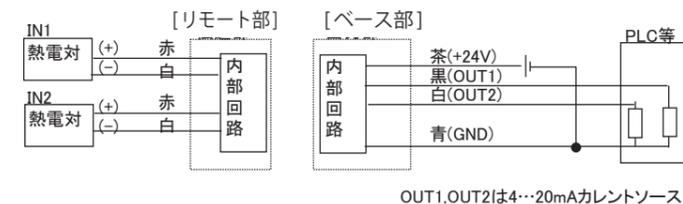
リモート部		ベース部	
型式	熱電対Jタイプ用 RS02T-018-J___ (___は測定温度範囲を表示) 熱電対Kタイプ用 RS02T-018-K___ (___は測定温度範囲を表示)	型式	RS02E-018E-PU-__
適合温度センサ	JIS規格熱電対JまたはKタイプ	電源電圧(入力電圧)	24V DC ± 5% (リップル含む)
測定温度範囲	型式末尾に表示(下記参照)	消費電流	≤ 150mA
冷接点補償精度	≤ ± 0.5°C	LED	INZONE(データ有効)
入力点数	2点 (1CH, 2CH)	出力	4...20 mA × 2点
伝送距離	1...4 mm	負荷抵抗	≤ 400 Ω
軸ズレ	± 2.5mm	分解能	0.04% フルスケールレンジ
使用周囲温度	0...+80°C	応答速度	≤ 0.5 秒
保護構造	IP67	基準精度	≤ ± 0.8% フルスケールレンジ
接続ケーブル	補償導線 (JIS) φ 0.9mm × 2、2本 全耐熱ビニル (90°C)	使用周囲温度	0...+80°C
材質	ケース 真鍮ニッケルメッキ 伝送面 ナイロン 12	保護構造	IP67
重量	本体 90g + ケーブル 30g/m	接続ケーブル	PUR、φ 5mm/4x0.25mm ²
		材質	ケース 真鍮ニッケルメッキ 伝送面 ナイロン 12
		重量	本体 95g + ケーブル 30g/m

■測定温度範囲は、型式末尾に表示する上限温度以下の範囲としてください。

適合温度センサ	型式	測定温度範囲
熱電対Jタイプ	RS02T-018-J300	0...300°C
熱電対Kタイプ	RS02T-018-K100	0...100°C
	RS02T-018-K1000	0...1000°C

JIS規格に準拠した熱電対JまたはKタイプをご使用下さい。

配線図



【注意】

- 電流出力はカレントソースになっています。負荷は出力とマイナス間に接続してください。
- 静電気について
 静電放電のある環境では、リモートシステムへの静電気による影響を防ぐため、アースをとることをお勧めします。

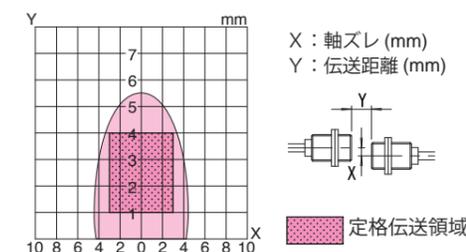
電流出力

ベース部 (RS02E) から出力される電流は下記のとおりです。

状態	出力電流
リモート部が伝送領域に無い	0 mA
リモート部が伝送領域内にあり、 測定データを受信中	4...20mA (測定温度範囲の下限で4mA、上限で20mA)
リモート部が伝送領域内にあるが、 熱電対断線または未接続の時	21mA

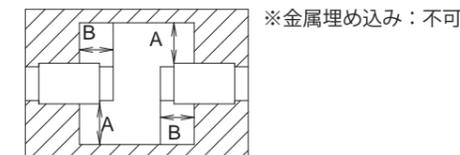
伝送領域図

【代表例：使用電源電圧 24V DC】



周囲金属の影響

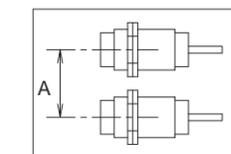
製品を金属に埋め込む場合は、周囲金属による影響を避けるため、必ず下表に示す値以上の空間を設けて設置してください。



型式	A (mm)	B (mm)
RS02T-018-xxxx	20	15
RS02E-018E-PU		

相互干渉

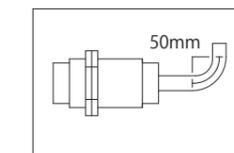
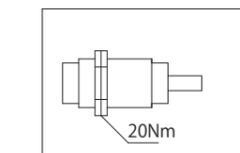
製品を並列して取り付ける際は、製品間の相互干渉を避けるため、必ず下表に示す値以上の空間を開けて設置してください。



型式	A (mm)
RS02T-018-xxxx	110
RS02E-018E-PU	

取り付け

付属ナットの締め付けトルクは 20Nm (200kgf・cm) です。
 ベース部のケーブルを配線する場合は、50mm以上の曲げ半径を確保してください。



*取付の際は、ケーブルを過大な力で引っ張らないでください。

